

令和4年度 指定管理施設評価票

1 基本情報

(令和5年3月31日時点)

施設名	港区立介護予防総合センター						
指定管理者	セントラルスポーツ株式会社						
指定期間	令和 2 年 4 月 1 日 ~ 令和 7 年 3 月 31 日						
募集方法	公募	グループ化の有無	-	利用料金制の採用	-	使用許可権限の付与	-
施設所管課	保健福祉支援部高齢者支援課						

2 職員体制

(単位：人)

	正規			非正規			委託（シルバー人材センター等）	合計
	常勤	非常勤		常勤	非常勤			
職員数	7	7	0	18	10	8	3	28
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考	
正規・非正規職員の退職者数		2	2	2				

3 指定期間における事業実績

事業実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
利用者数（人）	29,276	42,932	53,722			
個人登録者数（人）	1,594	1,675	1,738			
団体登録者数（団体）	26	31	35			

4 指定期間における経費実績

(単位：円)

項目		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
経費実績	収入	203,462,287	203,326,502	208,288,492	0	0	
	指定管理料（清算後）	203,462,287	203,326,502	208,288,492			
	利用料金収入	0	0	0			
	その他収入	0	0	0			
	支出	202,930,946	201,699,008	206,035,125	0	0	
	職員人件費	121,542,615	121,151,497	122,755,359			
	光熱水費	0	0	0			
	修繕費	66,905	71,390	912,285			
	事業運営費	48,631,626	47,349,293	49,196,315			
	施設管理経費	239,800	676,828	721,166			
	その他経費	32,450,000	32,450,000	32,450,000			
	差引収支額	531,341	1,627,494	2,253,367	0	0	
年度協定書で定める指定管理料	204,297,444	207,160,668	212,543,353				

5 管理運営状況に対する評価

項目	評価視点	指定管理者による評価	区による評価			
			評価	加算	点数	
【施設の維持管理】	① 設備機器の保守管理	仕様書等に従い、適切に設備機器の保守管理が行われ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	3 / 5	3 / 5	×1	3 / 5
	② 清掃及び衛生管理	仕様書等に従い、適切に清掃及び衛生設備の保守管理が行われ、施設が清潔に保たれていたか。	- / -	- / -	×1	- / -
	③ 修繕対応	迅速に修繕がなされ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
【事業運営】	④ サービスの向上	事業計画書で定めた事業を適切に実施するとともに、公募時の提案や利用者の声等を事業に反映するなどサービス向上を図っていたか。	5 / 5	5 / 5	×5	25 / 25
	⑤ 職員配置	事業計画書等で定めたとおり、必要な知識や技能を持った職員が適正に配置されていたか。	5 / 5	5 / 5	×2	10 / 10
	⑥ 人材育成	施設長や職員に対する研修などにより、サービスの向上に向けたスキルアップに取り組んでいたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
	⑦ 労働環境	区が定める最低賃金水準額を遵守するとともに、ハラスメントが通報されないなど、職員にとって良好な労働環境が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×2	10 / 10
	⑧ 安全管理・危機管理	施設の日常安全点検を実施するとともに、災害や事件・事故発生時の体制や対応の確立などにより、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×3	15 / 15
	⑨ 個人情報保護・情報セキュリティ	個人情報や情報セキュリティの社内規程を整備し、区の規程とともに遵守して、適正に運用していたか。	3 / 5	3 / 5	×1	3 / 5
	⑩ 区施策への協力	高齢者や障害者の雇用促進、区内事業者の活用、施設の省エネ促進等、区の施策を理解し積極的に協力していたか。	5 / 5	5 / 5	×3	15 / 15
区による評価合計点						91 / 95

【各項目の評価について】

- 5点：当該項目に係る事項については、充実した取組が展開されていた。
 3点：当該項目に係る事項については、概ね適切に取り組んでいた。
 1点：当該項目に係る事項については、更なる取組の推進が必要であった。
 ※複合施設の入居施設等で、当該施設の指定管理者が設備機器の保守管理等を直接実施していない場合、該当項目は「-：評価対象外」とします。

指定管理者による自己評価	<p>令和4年度は、多様化する生活様式に対応し、高齢者が自らの生活に合わせて介護予防に取り組めるよう、「オンライン強化元年」とし、ICTを活用した新たなイベントや介護予防事業の開発など、様々な事業を推進しました。</p> <p>新たな介護予防事業として、自宅等で好きな時間に介護予防に取り組んでいただけるよう、「介護予防事業パッケージ」を作成した他、個別相談の推進として、自宅から個別相談ができる、「オンライン個別相談」を実施しました。また、ICTを活用した新たなイベントとして、「eスポーツ体験会」や「かんたん！スマホ教室」等を実施しました。</p> <p>また、介護予防リーダー・サポーターから、ICT関連事業のボランティアを募り、「Zoom体験会&使い方講座、Zoom主催者簡単講座」のサポートをしていただきました。</p> <p>港区の介護予防事業とその効果や、事業実施施設と高齢者相談センターの紹介を掲載したちらしを作成し、新聞折り込みを実施しました。</p>
区（施設所管課）による評価	<p>施設の維持管理については、適切に機器の保守管理が行われている他、換気や消毒を定期的に行うことで利用者の安全・安心が確保されていました。</p> <p>事業運営については、利用者からのご意見に迅速かつ適切に対応することができました。職員配置は業務基準書を遵守できており、区や都の研修を活用したスキルアップにも取り組むことができました。また、介護予防に関する最新情報を基に、多種多様な教室や研修の開催を行うことができています。</p> <p>今後も引き続き、安定した運営ができるよう指導してまいります。</p>

6 評価

令和4年度の管理運営に関する総合評価

S